

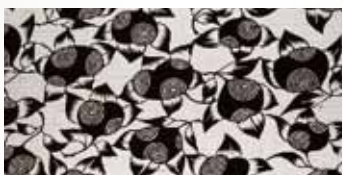
# 三重テラス みえの 文化セミナー

古くから東西の人々が入り交じり、多様な文化を持つ三重県  
平安から現代に至るまでのさまざまなテーマで、  
「みえの文化」を感じていただけるセミナーを、  
美術館や博物館などの県立文化施設がお届けします

[定員:各回とも50名]

## 第1回

### 伊勢型紙 その歴史と魅力



型紙 | 変わり橘 | 制作年不明・実影り  
三重県立美術館蔵

#### 【日時】

平成27年11月8日(日) 14時から15時30分まで

#### 【概要】

型紙とは着物や浴衣に文様を染める道具です。和紙を柿渋で貼り合わせたものに、様々な図柄を彫り抜いていきます。三重県鈴鹿市で作られた型紙は伊勢型紙と呼ばれ、圧倒的なシェアを誇っています。

また、19世紀後半に輸出された型紙が欧米の芸術家たちに影響を与えたことがわかり、型紙は大いに注目を集めています。

このセミナーでは、型紙の歴史や技法をスライドやビデオを交えてご紹介します。

#### 【講師】

三重県立美術館学芸員 生田ゆき

## 第2回

### うどんを考える 伊勢の魅力 日本の魅力



#### 【日時】

平成27年12月6日(日) 14時30分から16時まで

#### 【概要】

三重県にはまだまだ知られていないおいしい食べ物がたくさんあります。

伊勢うどんや三重県の魅力、そして日本の魅力を、松阪市出身のコラムニストで「伊勢うどん大使」の石原壮一郎さんと、東京のレストラン事情に詳しく、さぬきうどんをこよなく愛するフードライターの小石原はるかさんの対談で紹介します。

#### 【講師】

コラムニスト・伊勢うどん大使 石原壮一郎 氏  
フードライター 小石原はるか 氏

## 第3回

### 食でみる 江戸のお伊勢参り ～伊勢・志摩に残る面影～



御師の屋敷で出された神楽膳(復元)

#### 【日時】

平成28年1月15日(金) 19時から20時30分まで

#### 【概要】

江戸時代、多くの人々が伊勢をめざしました。当時の人々は、どんな格好で、どんな食事をして、どんな名所をめぐったのでしょうか。食を中心にお伊勢参りの歴史をたどりながら、伊勢神宮とその周辺に今も残る当時の面影を紹介します。

#### 【講師】

三重県総合博物館学芸員 太田光俊

## 第4回

### 斎宮と 伊勢神宮の伝説



#### 【日時】

平成28年1月29日(金) 19時から20時30分まで

#### 【概要】

斎王は、天皇に代わって伊勢神宮に仕えるため都から派遣された未婚の皇女。その斎王の宮殿と斎宮寮という役所のあったところは斎宮と呼ばれていました。斎宮と伊勢神宮起源伝承で知られるヤマトヒメの伝説の世界へ、講座と古事記一人語りによりご案内します。

#### 【講師】

斎宮歴史博物館学芸普及課長 榎村寛之  
暦研究家・創風作家 康光岐 氏